



NO. 198

2009. 12. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

http://city-osaka-ikuseikai.or.jp

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

命はぐくむ琵琶湖から

今、あらためて『この子らを世の光に』

〜障がいがあっても、自然に暮らせるまちづくり〜

第五十八回全日本手をつなぐ育成会

全国大会開催される！

紅葉の琵琶湖で、第五十八

回全日本手をつなぐ育成会全国大会が、平成二十一年十一月十四日(土)から十五日(日)の二日間にわたり、滋賀県大津市の県立芸術劇場びわ湖ホール、大津プリンスホテル等で、約二七〇〇人の参加により開催されました。大阪市育成会からは笹野井理事長をはじめ、約四十名が参加しました。

紅葉の琵琶湖で、第五十八回全日本手をつなぐ育成会全国大会が、平成二十一年十一月十四日(土)から十五日(日)の二日間にわたり、滋賀県大津市の県立芸術劇場びわ湖ホール、大津プリンスホテル等で、約二七〇〇人の参加により開催されました。大阪市育成会からは笹野井理事長をはじめ、約四十名が参加しました。

分科会が開催されました。分科会は、七つに分かれて、

- ①『そだちあい(育成)』、②『はたらきあい(就労)』、③『むすびあい(日中活動・余暇支援)』、④『くらしあい(地域・ホーム)』、⑤『かさねあい(高齢化)』、⑥『つなぎあい(育成会活動の今)』、⑦『わかちあい(障害者の権利条約)』

今回の滋賀大会は、近江学園でどんな重い障害を持った子も、だれとともとりかえることができなない個性的な自己実現をしている、この子たちも立派な生産者であること、自ら光り輝くように、『この子

らを世の光に』と実践された故糸賀一夫先生の『福祉の心』を今改めて、お互い確認しあい、学びあっていくことをテーマに開催されました。大会第一日目の十四日は、分科会が開催されました。分科会は、七つに分かれて、

は石田理事が⑥つなぎあい(育成会活動の今)の分科会で提言者として発表されています。

第一日目の夕刻に開催された本人大会懇親会では、来年度の近畿大会が大阪市で開催することから、港第二育成園の浦川裕太さんから、『平成二十二年九月五日の日曜日には、大阪城のふもとで盛り上りましょう!』と歓迎のアピールを力強くされました。

大会第二日の十五日には、全体会が開催されました。

全体会では、会場で糸賀先生の感動的な映像によるメッセージが流される中、開会されました。大会式典では、大阪市からはエルチャレンジの富田理事長が、長年の就労訓練、就労支援の取り組みに対して、全日本育成会理事長から感謝状が贈呈されました。全体会や分科会のように参加された会員の皆様から報告させていただきます。レポートをお送りいただいた皆様ありがとうございました。

分科会レポート

①第一分科会

そだちあい(育成)に参加して東成育成園 角森 佐岐子

基調講演は、埼玉県東松山市での「統合保育」「統合教育」を中心にしたお話がありました。東松山市では、障害者福祉プランではなく、『市民福祉プラン』を策定し、手帳を持つ障害者だけではなく、ハンディキャップの状態にある全ての人を支援することを計画の基本理念にしているそうです。平成十二年には総合相談センターが開設され、三障害と高齢者の相談を一体化し、年中無休、電話相談は二十四時間対応を実現されています。同時期に訪問サービスセンターも立ち上げ、介護保険・支援費制度への対応は勿論、精神障害・難病患者へのヘルパ